

2016年9月1日

## 公益財団法人食生活研究会 第24回「食と健康」講演会を開催

日清製粉グループ（株式会社日清製粉グループ本社 社長：大枝 宏之）が支援している公益財団法人食生活研究会（理事長：正田 修）は、本年10月4日（火）、第24回「食と健康」講演会を開催します。

1941年に設立された公益財団法人食生活研究会では、「健康で豊かな食生活の向上に寄与する」ことを目的に、食料及び食生活に関する研究者または研究機関への助成、講演会等の開催及び講演会記録誌等の刊行、海外からの留学生に対する支援等を行っています。その一環として、「食と健康」講演会を毎年開催しています。

### ■ 第24回「食と健康」講演会概要

・日 時：2016年10月4日（火） 14：00～17：20

・場 所：社団法人クラブ関東（定員150名）  
東京都千代田区丸の内1-3-1 東京銀行協会ビルディング19階  
電話：03-5221-8955（代表）

・テーマ：＜第一部＞ 研究報告

- 1 「肝インスリン抵抗性とアルコール摂取の関連性の研究」  
発表者：竹野 景海 氏（順天堂大学大学院代謝内分泌内科学  
・スポーツロジックセンター助教）
- 2 「食物アレルギーマーカーの探索」  
発表者：村田 幸久 氏（東京大学大学院農学生命科学研究科准教授）

＜第二部＞ 講演

- 1 「調理操作による食品の科学 –なぜそうなるの？–」  
講 師：香西 みどり 氏（お茶の水女子大学基幹研究院  
自然科学系教授）
- 2 「生活習慣病における運動と栄養の役割」  
講 師：森谷 敏夫 氏（京都大学名誉教授・(株)運動医科学研究所所長）

・参加料：無料

当講演会のお申し込みに関するお問い合わせ先  
株式会社日清経営技術センター 担当：早川  
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6550

この件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先  
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部 広報部 担当：手塚、山口  
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6650

## ■ 講演者プロフィール

### 香西 みどり 氏

お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授

昭和 30 年(1955 年)生まれ。昭和 53 年(1978 年)お茶の水女子大学家政学部食物学科卒業。同大学院家政学研究科食物学専攻修士課程修了。平成 11 年(1999 年)同大学生生活科学部助教授。平成 18 年(2006 年)同学部教授。平成 19 年(2007 年)同大学院人間文化創成科学研究科教授。平成 27 年(2015 年)同大学基幹研究院自然科学系教授。

平成 7 年(1995 年)学位取得 博士(学術)お茶の水女子大学。

現在、(一社)日本調理科学会会長を務めている。

専門は調理科学。

食品の調理過程における様々な変化に対して現象の把握とメカニズムの解明に取り組んでいる。また、これまで調理過程の数量的把握と最適調理条件の予測に関する研究を体系的に行っており、さらなるデータの蓄積を図っている。

主な著書：『調理がわかる物理・化学の基礎知識』、『加熱調理のシミュレーション：野菜内部の変化を視覚でとらえる』、『水と調理のいろいろ：調理で水の特性を感じる』、『食文化概論』、『監訳 マギーキッチンサイエンス』他

### 森谷 敏夫 氏

京都大学名誉教授・(株)運動医科学研究所所長

昭和 25 年(1950 年)生まれ。昭和 55 年(1980 年)南カリフォルニア大学大学院博士課程修了(スポーツ医学、Ph.D)。テキサス大学、テキサス農工大学大学院助教授、京都大学教養部助教授、カロリンスカ医学研究所国際研究員(スウェーデン政府給費留学)、米国モンタナ大学生命科学部客員教授等を経て、平成 4 年(1992 年)京都大学大学院人間・環境学研究科助教授、平成 12 年(2000 年)から同科教授。平成 28 年から京都大学名誉教授、(株)運動医科学研究所所長。

専門は応用生理学とスポーツ医学。

生活習慣病の温床になる肥満のメカニズムに関する研究に取り組んでおり、寝たきり患者や整形外科的に運動が出来ない人々のための骨格筋電気刺激にも精力的に研究を進めている。

主な著書：『京大の筋肉』、『ダイエットを科学する』、『生活習慣病の面白健康科学』、『メタボリアン改造計画』(共著)、『メタボにならない脳の作り方』他

## ■ 食生活研究会の概要

1941年(昭和16年)、日清製粉株式会社の創始者・正田貞一郎は、農産物に関する科学的研究促進のため、「研究機関または研究者に対する援助」等を行うとして財団法人農産化学研究会を設立しました。設立時には学会の権威である鈴木梅太郎、坂口謹一郎、水島三一郎各先生が理事となり、初代理事長に正田貞一郎が就任しました。

戦後、食生活の実態が戦前とは著しく変容することとなったことに顧み、目的を食糧の構成と食生活に関する科学的調査研究を行い、国民の食生活の改善向上に寄与する」とし、名称も「財団法人食生活研究会」と改称しました。

また、平成25年4月に公益法人制度改革による公益認定を受け、名称を「公益財団法人食生活研究会」に、目的を「健康で豊かな食生活の向上に寄与する」に変更しました。

当財団は創設以来、「食」に係る研究者・研究機関等を対象とした研究助成、また、講演会の開催を長年にわたって行ってきましたが、平成25年度から海外からの留学生支援を加え、公益事業を行っています。歴代の理事長は、正田貞一郎、渋沢敬三元大蔵大臣、山際正道元日銀総裁、正田英三郎元日清製粉(株)名誉会長相談役、藤巻正生東京大学名誉教授の諸氏であり、現在は正田修(株)日清製粉グループ本社名誉会長相談役がその任に当たっています。

( 食生活研究会WEBサイト : <http://www.z-ssk.org/> )